

口絵一覧

巨大な井筒 植田 畑ノ前遺跡

十一面観音立像 植田 如来寺

文明4年 棟札 北稲八間 武内神社

十三重塔 山田 新殿神社

一字一石経 菱田 薬師山遺跡

北稲八間村相給絵図 岩里周英家文書

免定、五人組帳、宗門人別改帳 庄田隆司家文書

精華町役場行政文書

日清・日露戦争当時の軍事郵便 松田安司家文書

祝園の居籠祭 祝園神社

四方参り 柘榴 東谷神社



巨大な井筒 植田 畑ノ前遺跡 (8世紀前葉 奈良時代)

直径1.14尺、長さ3.54尺のひのきの丸太をくりぬいた井筒。井戸の深さは7尺に達する大規模なものです

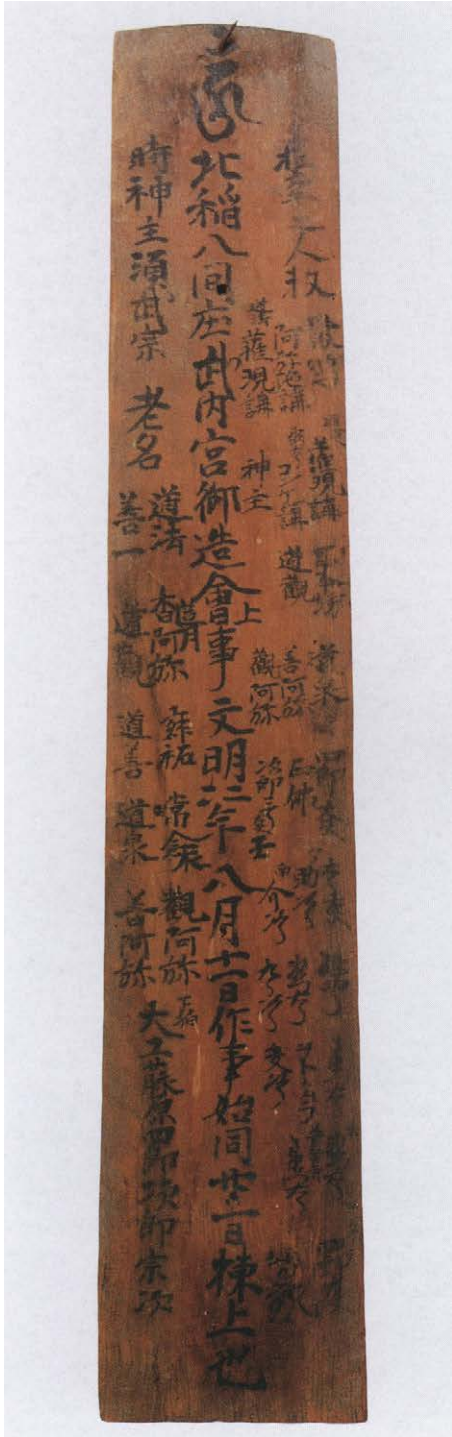


(修理前)



(修理後)

十一面観音立像 植田 にやらいじ 如来寺
(10世紀 平安時代後期)
町指定有形文化財
江戸時代にかなり形が変えられ、
1985(昭和60)年の調査時には
傷みが激しい状態でした。1995
(平成7)年には、可能な限り原形
にもどす修理が行われました



文明4年 棟札 北稲八間 武内神社

(1472年 室町時代) 京都府登録有形文化財

1318(文保2)年以来22枚残る棟札からは、北稲八間村の自治組織の変遷がうかがえます。文明4年の棟札には、中世の村落運営にたずさわった「老名」10人の名が初めて登場しています



じゅうさんじゅうのとう 十三重塔 山田 新殿神社

(1491=延徳3年 室町時代) 重要文化財

15世紀は、南山城が戦乱にまきこまれていた時期です。刻銘には百万遍念仏供養のために造立されたとあり、西念、真照をはじめとする24名の名が刻まれています



一字一石経 菱田 薬師山遺跡 (江戸時代)

一字一石経とは、小石1個に法華経の字句を1字ずつ書写したもの。菱田の西方寺の末寺、薬師寺の念行者が、1828(文政11)年に書写して塔に納めたという石碑とともに、1993(平成5)年の発掘調査で発見されました。上は出土状況、下は墨痕の残った石の数々